

令和4年度 千葉市大学市長賞受賞者一覧

大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
<p>植草学園大学 保健医療学部 理学療法学科</p>	<p>たはかし さら 高橋 咲良</p>	<p>千葉県障害者スポーツ大会にボランティアとして参加し、千葉市在住の障がい者の方をはじめ、多くの参加者の競技補助を行った。 学業においては、成績はクラスの中で4年間常に上位であり、臨床実習では千葉市内の病院の実習指導者や患者から大変に高い評価を得た。今後、医療従事者として、適切なりハビリテーションの提供などの活躍が期待できる。 また、穏やかな性格で他者の意見を尊重できるとともに、自分で目標を定め、着実に歩を進めることのできる優秀な学生である。</p>
<p>神田外語大学 外国語学部 イペロアメリカ言語学科</p>	<p>むらい しおん 村井 紫音</p>	<p>大賀ハス開花70周年記念事業「大賀ハス祭り」において、「ちはなちゃん」のぬり絵を集めてモザイクアートにすることを発案し、その展示活動を通して貢献した。 学業では、所属するブラジル・ポルトガル専攻において上位となる非常に優秀な成績を修めた。 また、在学生向け動画情報コンテンツの企画ならびに出演、キャンパスアドバイザーや入学前教育メンターとして様々な場面で活躍し、大学生活におけるロールモデルとなった。</p>
<p>敬愛大学 国際学部 こども教育学科</p>	<p>むらかみ りと 村上 梨桃</p>	<p>パラスポーツフェスタ等のパラスポーツ行事では、ボランティアとして熱心に取り組み、東京パラリンピックにおいても、競技ボランティアのリーダーとして活躍した。 学業では、入学以来、高い向学心を持って取り組み高成績を修め、震災学習においても率先した取り組みが随所に見られた。 また、「ちば！教職たまごプロジェクト」など課外活動においても他者と連携しながら熱心に活動した。</p>
<p>淑徳大学 総合福祉学部 実践心理学科</p>	<p>せきね かえで 関根 楓</p>	<p>コロナ禍ではあったが、市内の精神病院や矯正施設、高齢者福祉施設等での心理実習に、積極的に参加し熱心に取り組んだ。 学業では、すべての授業において、優秀な成績を修めた。卒業論文も優れ、大学院において引き続き勉学に励み、将来的には、公認心理師・臨床心理士として、心理臨床の現場での活躍が期待される。 また、学生生活において、他学生の模範となるリーダーシップを示した。</p>
<p>千葉大学 大学院 医学薬学府 先進予防医学共同専攻 4年博士課程</p>	<p>かわぐち けんじろう 河口 謙二郎</p>	<p>千葉市の介護予防に関する政策の立案等を目的としたデータ分析の基盤づくりや海浜幕張地区における介護予防施策等の効果検証プロジェクトに貢献した。 学業では、成績は非常に高い水準であり、大学院在学中に、高齢者の介護予防・終末期ケアに関する研究成果を発表するなど、その成果が認められて千葉大学大学院の4年博士課程を3年間に短縮して修了する見込みである。 また、研究室が主催するゼミにおいて精力的に発表や企画運営を行うとともに、論文執筆の指導など後進の育成に尽力した。</p>
<p>千葉経済大学 経済学部 経済学科</p>	<p>じつかわ いぶき 實川 依吹</p>	<p>令和元年「台風15号についての募金活動」で得た義援金を学園を代表し千葉市長に贈呈、令和2年「稲毛区長との対話会」に出席、令和4年「大賀ハス開花70周年学生ワークショップ」に参加するなど学外での活動に幅広く取組み活躍した。 学業では、1年次及び3年次の2度特待生に選ばれた優秀な学生である。 また、学友会会長や大学祭実行委員を務め、4年次には3年ぶりの対面での大学祭を成功に導いた。</p>

大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
東京情報大学 看護学部 看護学科	あいかわ こうへい 相川 耕平	<p>千葉県看護協会主催の「看護の日」には、千葉市内の看護学生とともに看護職についての魅力を発信するための活動を行うとともに、市民向けの講演を行うなど、看護職への理解や啓発に貢献した。</p> <p>学生生活では、意欲的に学習に取り組んでおり、成績は極めて優秀な学生である。</p> <p>明るく前向きな性格で、面倒見もよく、友人も多い。学内における様々な活動においても、自ら率先しファシリテーターを務め、学年問わず学生からの信頼も厚い。</p>
植草学園 短期大学 こども未来学科	すがわら のりこ 菅原 典子	<p>公開講座「植草共生の森（ビオトープ）で遊ぼう」にボランティアとして参加し、近隣や附属園の幼児・小学生に広場で絵本の読み聞かせを行い、仲間と協力しながら遊びのサポートとしてリーダーシップを発揮した。子育て支援センター「こいっく・おぐ」に参加し、若葉区在住の乳幼児の親子支援を行った。</p> <p>学業では、成績の上位に入るとともに、幼稚園・保育園等の実習では、真摯な取り組みが高い評価を得た。</p> <p>普段から仲間の模範となる行動を行い、特に大学祭の子どもフェスティバルにおいて、遊び場作り「乳児のためのコーナー」に力を注ぎ、来場者の親子に対して学生らしい品位のある対応が出来た。</p>
千葉経済大学 短期大学部 ビジネスライフ学 科	やすだ あみ 安田 亜瞳	<p>学園祭において「ファッションショー」を企画・運営し、中心的な役割を担った。その元気でさわやかな様子は、千葉日報や千葉テレビに取り上げられ、千葉市民のみならず千葉県民に希望溢れる明るい話題を届けた。</p> <p>学業では、向学心に富み、所属学科で上位の優れた学業成績を修め、特待生にも選出された。</p> <p>また、他の学生の模範となる品位ある学生生活を送った。千葉市内に就職が内定し、これからも市の発展に多大な貢献のできる人物である。</p>
千葉明德 短期大学 保育創造学科	きんばら みわ 金原 美和	<p>千葉県立4館・舞台芸術企画募集採択作品「芸術分の教育プロジェクト手話合唱による“やさしい風になるから”」の中心メンバーとして、コンサートに出演した。ろう者の方々からの学びを生かし、手話合唱に深い理解、共感を示した。</p> <p>学業では、常に成績上位であり、フィールドワークにも積極的に取り組み、自身の疑問点を教員に質問し、次の学びに生かす姿勢が見られた。</p> <p>また、教職員や周囲の大人、友人に対するあらゆる礼節において模範となる学生であり、2年次には入学式において、学年を代表して「新入生歓迎のことば」を担当した。</p>
帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科	おだまき ゆうか 小田巻 優花	<p>「東京2020 パラリンピック競技大会車いすフェンシング競技」「パラスポーツフェスタちば」等にボランティア参加。「千葉市オープンポッチャ大会」では、第1回から学生審判員として参加した。</p> <p>卒業研究では「体育系大学生のスポーツボランティアに対するイメージと参加意欲の関係性」について取り組み、4年間のボランティア経験を踏まえて、これからのボランティア活動や学生の支援方法等について提案するなど、他の学生の模範となる研究をした。</p> <p>また、パラスポーツサポートサークルやオープンキャンパスにおいて、学生のリーダー役として活躍した。</p>